

ふりがな 氏名	あしだ あきと	都道府県	兵庫県	
	芦田 晃人			
所属/肩書	株式会社フェリシモ しあわせ共創部 ソーシャル共創グループ、基金事務局/事務局長			
私の ESD活動	「ダイバーシティ社会の実現」 ものづくりを通じた障害者福祉の在り方を変える活動			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

#### 【活動の概要】

現在所属する企業の事業活動の一つである、障害者の社会参画を促進するプロジェクト、CCP(チャレンジド・クリエイティブ・プロジェクト)に 2011 年より参加しています。CCPとは、障害をもつ人を神様から挑戦というチャンスを与えられた「チャレンジド」と呼び、彼らが社会で活躍する舞台を増やすために 2003 年にスタートしたプロジェクトです。誰もが社会参画できるユニバーサル社会を目指して、全国の自治体などの協力のもと、授産施設や福祉施設、小規模作業所などのアトリエとフェリシモのプランナー、協力メーカーやアーティスト、デザイナーなどがコラボレーションし、手仕事を軸にした商品開発、販売を行っています。成果としては、約 40 の福祉施設との協働、約 200 点以上もの商品開発を行ってきました。社会的評価として、2006 年に「ソーシャル・ビジネス・アワード」、2011 年に「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」を受賞しています。

#### 【独創性、革新性、成果について】

福祉施設の手作り商品は、市場のニーズにあわせて作るのが難しく、生産量や販路も限られています。そこにフェリシモのマーケティング力や企画力をいかして商品開発を行い、生産を複数の福祉施設に担当いただくことで生産量を確保しながら、カタログやネットで販売するモデルを構築。ともに win-win の関係を築いています。プロジェクト開始直後から取り引きのある兵庫県のある福祉施設では、年間売上のうち3割をフェリシモの商品が占め、障害者の平均賃金は全国平均の約 1 万 3500 円を上回る約 1 万 7000 円となり、ボーナスの支給も行われています。障害者の方のもつ個性を引き出しながら、そこから生まれるストーリーを付加価値とし、販売展開していくビジネスモデルが 10 年をかけて確立されています。

・CCP(チャレンジド・クリエイティブ・プロジェクト): <http://www.felissimo.co.jp/s/ccp/>

・フェリシモ CSR 活動: <http://www.felissimo.co.jp/company/cfm/001.cfm?HL=31849&ID=31850,223&P=CSR>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

「多くの活動を有機的につなげ、ダイナミックな流れをつくる“架け橋”としての役割」

現在、企業としてさまざまな社会的事業を行っています。(オーガニックコットン、フェアトレード事業、動物愛護活動)。社会では企業だけでなく、NPO・NGO、国際機関等、さまざまなアプローチがあります。しかし、そのどの活動をとってもフォーカスしている社会問題が同一であるにもかかわらず、協働といった視点がまだまだ少ない気がします。一企業ができること、一NPOができること、一国ができること、そんな個別視点を越えて、みんながつながればより広がりのある活動が期待できます。今そんな取り組みを企業として行いはじめています。社会問題の解決には、一つの目標に向かって種々の活動が有機的につながることで、そのための“架け橋”となる取り組みや存在が必要です。その役割を次代を担う若者だからこそ担っていくことができるのではないのでしょうか。